



たら

2001 (平成13年)

4.25発行

No. 80

議会だより

○発行…太良町議会 ○編集…議会編集委員会

○〒849-1602 佐賀県藤津郡太良町大字多良1番地6 TEL 09546-7-2151



太良・健康の森第2回さくらまつり

平成13年度 一般会計予算
総額 54億1,200万円を議決

3月定例議会が3月9日に開会(18日間)

13年度の当初予算が可決

中央省庁等改革に伴う太良町条例の整備に関する条例の制定

本年一月六日で国の省庁機構が整備統合され、それぞれの名称が変更されたことに伴い、太良町条例も名称を変更しました。

職員の再任用に関する条例の制定

本年度から公的年金の支給開始年齢が段階的に六十五歳までに引き上げられることに伴い、年金と雇用との連携を図り、高齢者の雇用促進することを目的とした地方公務員法の一部改正により、行政サービス及び公務効率の低下の防止を図るため、あわせて、定年退職職員の永年培った知識、経験等の有効活用することを目的としたもの。

地方公務員法等の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

職員の再任用に関する条例が制定されることに伴い、再任用する職員の勤務時間や休暇等、勤務条件等を整備するため、それぞれの関係条例の一部を改正しました。

太良町地域環境整備事業受益者分担金徴収条例の制定

この条例は、家庭雑排水路等の整備事業を目的に制

定するもので、現在実施している太良町地域環境整備事業原材料支給要綱による原材料のみの支給では、技術的に難しい箇所、又業務の確保等に問題があったため、町で工事をし、その事業費に対する負担金(一三)を徴収することにより、事業の促進を図ることを目的とするための条例制定であります。

太良町税条例の一部を改正する条例の制定

改正の主な内容
特定中小会社が発行した特定株式を取得した一定の者が、証券会社への委託等により譲渡した場合には、一定の要件の下で、譲渡所得等の金額をその二分の一に相当する金額とする特別の創設の改正。

太良町国民健康保険税の条例の一部改正

介護納付金の増額に伴い介護納付金課税分の税率を○所得割 ○一五五を○九〇%に
○均等割五千三百円を六千円に
○平等割三千六百円を四千円に改正しました。

太良町廃棄物の処理及び清掃並びに浄化槽に関する条例の一部を改正する条例の制定

平成十三年四月から特定家庭用機器再商品化法が施行されることに伴い、冷蔵

庫、テレビ、洗濯機、エアコン、の四品の廃家電製品については、四月一日から収集を行わないことになりました。

太良町営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定

公営住宅法施行令の一部改正により、介護保険制度による在宅介護体制の充実等を踏まえ、常時の介護を必要とする老人、身体障害等であっても、単身入居が可能となる者については公営住宅への単身での入居資格が認められるよう規定の明確化が図られました。

太良町消防団条例の一部を改正する条例の制定について

消防団員の年齢、四十歳までを四十五歳までに引き上げることにしました。

太良町高齢者介護手当支給条例の廃止について

平成十三年度から国が家族介護者慰労金支給事業を実施するため、町においては別途要綱を制定し、この事業に移行することとしたため廃止するものです。

農林漁業開発資金融通に伴う事業の指定及び融資額の限度について

農林漁業開発資金の事業として、柑橘、畜産、海苔を指定し、融資限度額を四千万円と定めるものです。

平成十二年度一般会計補正予算(第四号)

補正予算の主なものは、学校建設基金積立金一億三千六百五十一万六千円、老人保健特別会計への繰入金一千七千円、漁港環境整備事業費六百三十四万三千円の追加補正や、財政調整基金、衛生施設建設基金等各種基金の利子の確定に伴う積立金。

平成十二年度老人保健特別会計補正予算(第二号)

今回補正の主な内容は、一月及び二月の医療費を勘案し、医療給付費を一千万円増額。
平成十二年度国民健康保険特別会計補正予算(第二号)

平成十二年度簡易水道特別会計補正予算(第三号)

補正予算の主なものは、減価償却費の減額補正と委託料から開発費への組替えました。
今回の補正は、決算見込みによる係数整理で預金利子七万五千円、原水及び浄水費五万円、総係費六万五千円を減額しました。

平成十二年度漁業集落排水特別会計補正予算(第三号)

今回の補正は、決算見込みによるもので、主なものは、国民健康保険税一千六百九十七万一千円、国庫支出金一千二百三十八万四千円、基金繰入金六千万円の減額等で、総額から歳入歳出それぞれ五千八百五十三

万六千円を減額し、補正後の国民健康保険特別会計予算の総額は、十三億一千七百七万一千円となりました。

平成十二年度山林特別会計補正予算(第二号)

町有林保育事業の事業量等の変更による、二百九十五万八千円の減額補正。

平成十二年度町立太良病院事業会計補正予算(第二号)

補正予算の主なものは、減価償却費の減額補正と委託料から開発費への組替えました。

平成十二年度簡易水道特別会計補正予算(第三号)

配水管等の修理に要する経費四十万円及び喰場地区水源井試掘工事・改良工事に要する経費四百九十二万九千と計画書作成委託料百万円を減額しました。

平成十二年度水道事業会計補正予算(第二号)

今回の補正は、決算見込みによる係数整理で預金利子七万五千円、原水及び浄水費五万円、総係費六万五千円を減額しました。

平成十二年度漁業集落排水特別会計補正予算(第三号)

漁業集落排水特別会計の

主な事業

- ◎豊かな心がふれあう健康と福祉のまちづくり 保育所児童措置費 …… 2億5,785万円
- ◎豊かさが生きる力強い産業のまちづくり 道路改良舗装・補修工事 …… 2億2,500万円
- ◎豊かな人と文化のまちづくり 小・中学校施設整備事業 …… 4億3,912万円

平成13年度 会計別予算額

会計	予算額	増減額	伸び率 (%)
一般会計	54億1,200万円	△4億5,800万円	△7.8
老人保健特別会計	14億1,700万円	5,100万円	3.7
国民健康保険特別会計	14億3,600万円	1億円	7.5
山林特別会計	4,200万円	900万円	27.3
町立太良病院事業会計	8億379万円	528万円	0.7
簡易水道特別会計	7,150万円	△3,400万円	△32.2
水道事業会計	6,937万円	△834万円	△10.7
漁業集落排水特別会計	2,900万円	△8,200万円	△73.9
合計	92億8,066万円	△4億1,706万円	△4.3

補助事業最終年度精算に伴い主に工事請負費二百万円の減額及び実績による減額補正。

任期満了に伴う教育委員の選任について
荒木正子氏を再任しました。

教育委員の選任について
家永 忠氏の辞任に伴い後任の教育委員として馬場良夫氏を選任しました。

両組合を組織する地方公共団体から、佐賀県東部隔離病舎組合、佐賀地区伝染病隔離病舎組合、伊万里・有田地区伝染病隔離病舎組合の解散に伴う規約の一部変更。

佐賀県町村非常勤職員公務災害補償等組合規約の一部を変更する規約について
佐賀県町村職員退職手当組合規約の一部を変更する規約について

二月十五日に、人口約一万一千五百人で農林業を基幹産業とした大分県九重町を視察した。

議会活性化のために子ども議会が行われている。町内六つの小学校から選ばれた児童二十四人が、一

議会運営委員会視察

日議員となり、一つには、少年の自由で夢のある発想と意見を町づくりに生かす。二つには、自分の町を学習し、郷土愛を培う。三つには、児童や先生のほか保護者等が傍聴者とな

り、議会や行政への関心も強める事などを目的に今年で第六回目になる。また、本会議の一般質問をナイター議会でやっている。太良町でも参考にしていきたい。



総務常任委員会研修風景

総務常任委員会視察

一月二十四日、二十五日の二日間、「行政改革及び組織・機構改革」について大分県国東町と日出町を研修視察した。

国東町は行革大綱の中で、「事務事業の見直し」、「業務改善」、「組織・機構の見直し」、「教育環境整備」、「定員適正化計画」、「給与の適正化推進」、「収入の確保対策」、「人材育成」、「事務事業

の民間委託」などが示されている。

多様化し、増大していく事務量の中で、最小の経費で最大の効果を上げることが基本原則に、町民への行政サービスを下下させることのないよう改革していくとのことだ。

日出町では、行政改革推進委員会に、助役を会長、収入役と教育長を副会長に、各課長及び職員組合代表二人が委員となり構成している。

推進にあたって、係長クラスで研究委員会を設置し検討され、委員会では各課のヒアリングを実施して組織・機構の見直しが図られていた。

こころが聞きたい いっぱん質問



どうする有明海

田崎 誓 議員

一般行政施策の見直し

問 時代の急速な変化で法令も改正され太良町の条例等も改廃がなされているが不況が続いている今日、町の財政も不安定な時には施策の方向変換もあってよいと思うが、三年間続いてきた、まると体験ツアーは平成十二年度で県の補助金も終わるのですべての産業が不況の時に町の税金を使つてやるのは規制すべきであると思う。
町長 今後事業をする時は事業実績をもとに議会、決算委員会、実行委員会等に協議して行きたいと思う。
問 次に海外研修費三百六十万円の件であるが、海外研修を国内研修に変えたら海外に一人の時は国内なら三人位行けるので見直したらどうか、町民

有明海沿岸道路建設促進は

町長 財政が厳しい中人材育成が町の重点事業の大きな柱の一つであるけど簡単に認める事もできないのも事実である。
今後実施の際は研修効果を選考委員会等に図り問題点や改善点を探って行きたいと思っている。
問 この件については三年前に質問しているが、現在に至る迄進んでいないが鹿島から諫早迄の区間の進捗状況はどのようになっているのか。
町長 この件については、平成十三年一月三十一日、二市三町鹿島市、太良町、小長井町、高来町、諫早市で有明海沿岸道路西部地区建設促進期成会設立についての各自自治体の話し合いが行われ本年四月

有明海の漁業不振対策は

町長 設立総会に向けて現在進めている。
有明海漁業不振は死の海としてテレビ・新聞等で報道された大きな問題となっている。
農林大臣も来県されて取り組んで潜水水であるタイラギ漁の減少については余り問題にしていないうが、タイラギ漁の不漁は今年だけではなくここ数年減少して行くばかりで漁民にとつては、もっと深刻な問題であり、昨年度も本年度もゼロでどうにもならないので海で働く人はみかんちぎり、玉ねぎ引きに行ったりして生活を支えている現状であり、なぜ有明海でタイラギが育たないのか、その原因はどこにあるのか、その真相究明を積極的に国、又、県に調査し

てもらいたい。

町長 そこで海面のプランクトン発生と海底の環境悪化から来るところの漁業不振は、有明海地域漁民にとり緊急事態であり死活問題である。

このため原因究明の調査を国・県のほかに大学研究機関等が開始している。

現在では調査の結果を見守り、町としても

漁協の意見を聞きながら県や有明海連へ陳情や要望を続けて今後も原因究明や漁業振興策に全力で取り組んで行きたい。

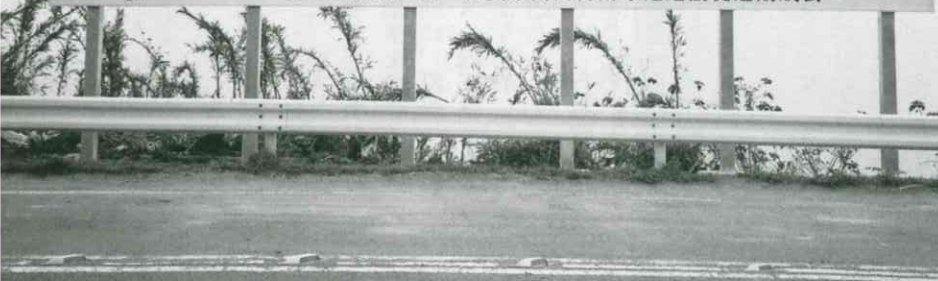
問 漁業不振対策資金はどのようになっているのか。

町長 漁業不振対策資金は二種類ある。県単資金は水揚の減少が五十%以上と三十%から五十%未満、二十%から三十%未満の三つに区分されている。貸付期間は七年で二年間は据置となっている。経営資金については、農林漁業金

国道207号線太良鹿島境の早期実現広告板

有明海沿岸道路の鹿島から諫早迄の延伸を実現しよう

有明海沿岸道路・佐賀県南西自動車道建設促進期成会





町有林の今後の 管理運営は

玉島喜久男 議員

問 町有林の管理運営については、明治末期から先輩諸氏の努力によって村や学校の基本財産づくり

ができた。

昭和三十年から四十年までの山林収入を分析したところ山林収入六億円

のうち四億三千三百万円が一般会計や特別会計の貴重な財源に充当され、その当時の山林収入は、町民税に匹敵する益金があった。

しかし、今日では高度経済成長によって木材の需要が住宅建設様式の変化によって落ち込み、また六年前の阪神大震災での木造住宅より化学材が強いと実証されている。

町内でも新建材による住宅が数多く建設される今日、木材の需要と供給の崩れた現状を見きわめ今後の町有林の運営についていゝろんな角度から論議し、将来に向けた山林行政の転換が必要である。そこで山林運営委員の見直しを含めて、時代に即応したブランドづくりに対応できる木材の鑑定

町有林中山キャンプ場入口付近

員の設置が必要である。今後の町有林管理と運営について町長の見解を求めぬ。

町長 先人たちの努力によって町内の山林はほとんどが人工林となり、現在に引き継がれ、これまでに太良町が受けた恩恵ははかり知れないものがある。これは町の貴重な財産であり、おろそかにはできない。

山林の状態によって施業方法を選んで取り組んでいるし、枝打ちや間伐を適正に実施することの大切さを肌で感じている。町有林巡視員二名配置しており、現体制で業務を遂行したい。

分収林の 中途解約はできないか

問 全国的に杉・檜が盛んに

植栽されたのが昭和二十年後半から四十年代にかけてである。

当時は、住宅を始め木材の需要の伸びにより、昭和三十六年には分収造林特別措置法が制定され国においても分収造林を推進されている。

太良町においても、昭和三十九年より四十四年にかけて八集落の分収造林組合と六七・二六ha分収契約されている。参加組合の方々は植えつけから下刈り、枝打ち、間伐と汗と水の結晶で自分達の子供を育てるのと同じような思いで、又、共同の力でお互いを励まし合いながら、伐期には区

の収入と老後の生活を夢見て三十五年間撫育事業に努力された結果見事な山林に育っている。

しかし、参加組合員の六割の皆さんは他界され、また、健康な方も七十歳以上の高齢者である。

契約期間が五十年であるので残存契約期間満了は後十五年である。十五

年すれば担当高齢者に皆さんならぬ。

山間地という厳しい条件の中、農業所得も少なく後継者も町外へ就職し、独居老人の女性の方も多く別に何の収入のない苦しい生活の現状から、いくらかの山林分配金が今欲しいと哀願されている。太良町の総面積で五十五%を占める山林をどのようにするか、生かすも殺すも為政者の宿命であると考えぬ。

太良町分収条例にあるように「太良町山林経営の合理化と町民の福祉増進を図り、もって産業振興に寄与することを目的とする」とある。町長はどのように認識されているか。

差し迫った山間区の現状と高齢化に伴う分収造林中途解約について町長の見解を求めぬ。

町長 中山山根分収組合から中途解約の陳情がある。財政的な問題もあり山林運営委員会等の意見を聞き慎重に対応したい。

下水道汚水処理整備を急げ



木下 繁義 議員

問 宝の海有明海の汚染が

進み沿岸海民は国営諫早湾防災事業が原因と決めつけ、四県漁民の怒りが二〇〇一年一月一日の幕開けと同時に爆発した。

農水相各党幹事長、衆参議員多数来佐、ノリ漁場や諫早干拓現場を視察、本格的に原因究明調査が始まった。宝の海を守ることで太良町は平成八年度から漁業集排事業に取り組み現在進捗中である。太良町は県下でも下水道処理整備がもつとも遅れており早急に進めるべきだ。

町長 公共下水、特定環

集、漁集、林集、小規模集、特定地、個別排、合併処、コミュニティと十事業がある。下水道整備は多額を要するので過大な投資を避け効率的な整備を図ることが重要で現時点では合併処理浄化槽も視野に入れ検討したい。

問 瀬戸内海環境保全特別

措置法が制定されており井本知事は川口環境相に

有明海新法の特別立法を

要請、川口環境相は検討すると答弁された。四県が一元となって有明海沿岸市町村に対し下水道汚水処理の予算を設けて頂くことは出来ないか、四県が有明海の環境問題には足並が揃っている今の時期が有明海を甦らせるチャンスであると考え

町長 知事がノリ調査だけ

ではいかん、海底調査も是非やり特にタイラギや魚介類の激減の状態であるからと言われていた。水産局長は有明海には

問 長崎県に西海水産研究所

があるが有明海独自のものとして陳情するようにと言われた、議会が終わると水産庁長官、谷津農相に有明海の現状を説明したいと思っている。

問 漁集排加入者の全戸宅

内配管完了の見通しは。環境衛生課長 八月頃は大体八十から九十%の完了の目標である。

問 中期計画で十六年度ま

で三十八基の計画であつ

たのを大幅に増基を図つ

て頂き十三年度は三十五基となっている。現在漁集排公共事業が完了、概算で約十三億五千万円、一戸当たり約七百万円となる。町単費でも増して合併浄化槽設置を取り組んで行けば得策であると思うが。

町長 一貫して試金石の事

業として失敗がないように取り組んで来た。世相では合併浄化槽が良いと話もあるので補助金は場合によっては水増ししても良いと思っている。

問 下水道推進協議会設立

を初めとした事業の推進検討はどうか。

環境衛生課長 経済効果の

面からも執行部の先進地視察勉強をして推進協議会を立ち上げ議会が済み次第推進協議会を開く考えである。

問 小さい館等の利用者

が月に五千人と伸びており、一人でも多くの町民の利用があつてこそ町民の念願であつた総合福祉保健センターの目的が達

成されるものである。更

に温泉の活用が出来れば憩の場として利用者が増えると思うが、温泉の状況と見通しは。

町民福祉課長 既に一年半

が経過しているが、現在自噴がおさまる気配は今のところない。自噴が停止しないと掲湯ポンプが設置出来ないので自噴がおさまるのを待っている。

問 鉄分の状況と変化は。

町民福祉課長 現在一リットル中十三ミリグラム当初は五十八ミリグラムあつたのが約四分の一に落ちていた。十三ミリグラムの鉄分ではまだ多過ぎで、ボイラに接続できない状態である。

問 今後どのような方法で

温泉を利用するか等考えたい。



完成間近な竹崎集排終末処理場



太良町の主幹産業はどうなるのか

山口 光章 議員

農業・水産業の活性化対策は

問 太良町の基幹産業はなんといいっても農業と水産

業にしぼられる。中でも太良みかん産業とノリ養殖業が主とされる。この産業が充実してい

ることで本町の経済は安定しているといえる。

しかし近年この産業があまりにも不振が続いていて、何かと潤いのうすい町として評価されつつある。

経済的にももっと潤いのある元気な町づくりが必要だと期待されるが、町としてこの厳しい現状をどのようにして乗り越えていけるのか町長の考えを聞きたい。

町長 みかんにしろつくれば売れる時代は昔のこと。今後は少量多品目化や栽培技術の再構築が何よりも重要であり組合組織や生産農家の意識の改革、又、生産者と組合組織それに関係機関、行政が一丸となって取り組みを強化していくことが重要であると思う。

又、水産業としては、

行事時の利用が求められることぶき会館

青少年育成は

本年度予算に計上しているが漁協、漁連、協業者と町が一体となりノリの協業化を推進している。ノリ不作の中で生き残る手だてとして他のノリ養殖者のモデルになるように取り組んでいきたい。

問 青少年の健全育成は当然ではあるが、その指導者の育成をも必要とする時代である。

青少年の非行、あるいは目に見える少子化という実状の中で太良町独自の指導者の育成を図るべきだと思うがどうか。

教育長

(ああする、こうするといふ具体的な答弁はなし)

役場臨時職員

問 庁舎における臨時職員

の制服を指定して職員らしい態度を教育する方法はないのか。

来客に対しての接客マナーなどは、いつどこで誰が指導をしているのか。総務課長 臨時職員の制服についてはなるだけ職員の制服に似通ったもの、派手にならないようにということ指導をしている。

臨時職員の制服の指定については今のところ考えてはいない。

臨時職員は臨時職員で、だれだれというような名札を着用させたいと思っ

ている。町民に対する接客マナー等については各課の課長に毎月の朝の職員朝会なり課長会議で指導をしてもらっている。

問 庁舎内の臨時職員は何名で、最高何年勤務か。

総務課長 現在のところ十九名で、一番長いのは通算十三年である。

問 十三年も勤務してれば、他の職員よりまじだと思いがどうか。

又、長い間臨時職とし

て働いていれば新しい臨時職員は入れないので、町長 確かに十三年は長い職員よりもエキスパートがおります。

この人がおらんとだめだという部署もある。又、新しい人に機会を与えてやるのも必要である。

老人福祉センター(ことぶき会館)の一時利用は

問 毎年多良地区で秋祭り浮立が行われるが雨天の場合昼食場所や休憩場所がない。

せめてその日だけでも、ことぶき会館を開放することはできないか。早朝から祭りに参加している幼児などは長時間の待機(出番待ち)で非常に疲れている雨天の場合も想定して一時開放はできないか。

町民福祉課長 町民の方々の一時利用については十分可能と思っている。

この件についてはケース・バイ・ケースで対応していきたいと思う。

行政改革はなぜ必要か 自主・自立で福祉の増進



田口 靖 議員



夢おこしが期待される木炭・竹炭の産出

助役 現在の大綱は平成八年に作られ、この中で行

新たな行政需要に対応

政サービスの向上、簡素で効率的な行政運営に不

問 太良町行政改革大綱の見直しと「行革」の取り組みについて、再質問する。

平成十一年十二月の質問に対しては、「十一年度に改革の計画を立てており、十二年度中に実施する。」との明確な前助役の答弁があつていた。前助役からバトンを渡

された小山助役は、百武町政を推進する補佐役として、行財政改革にどのようなメスを入れようとして、行財政改革にどのようになっているのか、町民は新鮮なまなざしで期待していると思うので、次の点について質問する。まず大綱の見直しは、なぜ必要か。

総務課長 前課長のときに要綱案をつくり、決裁を

断の行財政見直しを図ってきたが、十二年度で五年の推進期間を終了する。

問 平成八年の大綱の中でも「職員提案制度」は実施項目としているが、作られているのか、検討されたことがあるのか。

一方、長引く景気の低迷、国・地方の多額の債務を抱える中に、少子・高齢化や環境問題への対応など、新たな行政需要が見込まれ、また、昨年四月に地方分権一括法が施行されており、自主性、自立性を高めて、住民の福祉の増進と魅力ある町づくりが求められている。このため、新たな行政改革大綱を策定するよう準備を進めている。

問 例えば「行政事務の見直し」の中で、具体的にどのようなことを取り組もうとしているのか。

「総務課長 関係部局の連帯の強化、事務処理のOA化、職員の提案制度、職員研修、行政サービスの向上など五項目を上げている。」

問 百武町政の三つの公約を実現するため、長期計画では、とくに、実践する項目として「たら夢おこし未来塾」をかかげているが、どうなっているのか。

「消えた「たら夢おこし未来塾」」

事務長 経営と建物に分けて十二年度中に「経営診断」の結果が出るが、現在の四十六床では効率的ではないということだ。

町立病院六十床で健全化

問 生涯福祉ゾーンづくりでは、老人センターの三十年の実績がある中で、総合福祉保健センターが完成、「福祉の町」に力を注がれているが、その中心は町立太良病院であると思う。

費用に占める人件費は十一年度で六割であり、健全化方策はどうか。

問 「たら夢おこし塾」については、実施していない。

「消えた」

拡充計画で起業創出

つまり、一病棟六十床でいくと、看護婦もあと三人でよく、六十床となれば黒字転向できる。診断結果を待つて経営改善に取り組みたい。

町立病院六十床で健全化

町立病院六十床で健全化

町立病院六十床で健全化

町立病院六十床で健全化

町立病院六十床で健全化

町立病院六十床で健全化

町立病院六十床で健全化

町立病院六十床で健全化



漁業の再生のために

坂口 祐樹 議員

育てる漁業を

問 一昨年から二年続きと

いう異例のタイラギ貝の不作が続いている。

そして、ノリ養殖においては、昨年末からの植物プランクトンの異常発生による大きな被害を受けた。

ほかの多くの水産物も

激減している。とるだけの漁業から、つくり育て管理する漁業を、実践していかなければならないと思う。

竹崎カニの畜養事業についてどう考えるか。

町長 国・県の補助をいただいても、今日の漁業不振の中で負担能力は限界に来ていているということや、

近年のこの赤潮発生による施設管理の危険性など

から断念したいきさつがある。

栽培漁業センターを有

明海地区の培養拠点として利用していただくよう、関係方面に積極的に働きかけた。

問 タイラギ貝の成育についてはどうか。

町長 漁獲不振の原因究明

が先決であり、政府の有明海ノリ不作等対策関係調査検討委員会等での因果関係などを調査されているので結果を待ち対応策を検討したい。

問 稚ガニ放流事業で中間

育成をしてはどうか

町長 研究課題として模索している。

漁場の整備を

問 タイラギが生息している

可能性がある海底を広くに調査できないか。

町長 環境調査を国、県がやっているので見守りた

い。

問 再度、海底耕うんをや

れないか。

町長 漁民の方の要請があれば協力したい。

問 漁業者が受ける融資に

対して利子補給はできないか。

町長 借り入れの条件も違うので、大変難しい。

問 商品価値のないノリの

処分場の整備を。

町長 陸揚げされてビニールをかぶせて腐

らせる方法をとっている。

場所は漁港周辺しかない。

問 具体的な方策を見つ

けるために、町、漁協組合、関係事業者、学識経験者

等で研究機関を設置できないか。

町長 そのために漁業組合

がある。

水門開放を

問 諫早湾干拓事業の水門

開放についてどう考えるか。

町長 漁業者らが行ったデモ

に同行し「宝の海を返せ」と、生きる糧を奪われた人々の切実な願いを耳にした。

水門をあける決断が、

今求められていると思う。

一刻も早く有明海の子

宮をよみがえらせなければならぬ。

町長 漁民の気持ちは十分

わかるが、開放した場合の大量の汚濁された水が有明海に与える影響などが全く不明であり、今回のノリ不作やタイラギなどの漁獲不振の原因究明

が

がまずもって先決であり、

政府の有明海ノリ不作等

対策関係調査検討委員会

等で因果関係などを調査されるので、その結果を待ち、対応策を検討したい。

水門の開放については、最終的には国の政治。

活気をなくしかけている漁港



亀ノ浦駅裏の町道を新設改良せよ



佐藤 茂美 議員

広江地区 大浦港湾道路の整備

問 広江地区の国道から太良観光ホテルまでの中間に飛び出た所があるが、この道路は白浜海水浴場に通じ、交通量も多く事故多発の危険性もあり、地元町民の心配も大きいので道路の整備を急ぐよう十二月議会で強く要望したが、町長も研究課題としておくと答弁されたが、その後どう対処されたか。

町長 大浦港湾道路は起点が広江信号機の国道分岐点で、終点が塚本宅前までで、その先は町道白浜線となっている。この港湾道路の終点付近に道路に対して突出した土地があり、この土地の購入については前町長と県で対応したが条件等で断念されていると聞いている。用地の購入については県との協議が必要であるので、早急に交渉に入りたいと思う。

問 この道路は夏になれば海水浴場へ親子づれやグループで来る人や自動車も多くなる。事故が発生してからはおそい。早く整備されたい。

町長 実情は良く理解しているのですが、速やかにできるような、県との協議を急ぎたい。

亀ノ浦駅裏の町道の新設改良

問 亀ノ浦駅裏の町道の新設改良については平成四年十二月と平成八年六月の両議会で質問した経緯があるが、平成八年の質問に対して町長は、大浦駅前のみならず日の辻山一帯の開発につながるよう幹線道路をぜひ計画したいと答弁されたが、計画はどう進んでいるか。

町長 県道竹崎の改良事業は平成十三年で跨線橋が完成し、予算の割当次第では舗装を計画し平成十四年三月三十一日まで工事が完成する予定である。

問 この県道から亀ノ浦駅裏道路の新設計画は大浦駅裏の似田地区のみならず、日の辻地区の開発まで、つながる幹線道路を考慮しながら机上の案ではあるが、現在三案を考えている。

ただ莫大な事業費を必要とするので、当然国の補助事業で対応したいと考えているが、事業の費用対効果から町道としての新設がよいか、あるいは農道整備で計画するかは、今後の検討課題である。また新設計画をする以上当該地区はJRで遮断され、これといった排水路がないため、当然路面水の流末処理の問題が最大のネックではなからうかと思う。

今後は地元関係者や地権者の意見を拝聴しながら計画を進めたいと思うので少し時間の猶予をいただきたい。

問 駅裏地区の現在の幹線道路は幅員が狭くいざ火災などが発生した際の緊急活動、通学路の確保等のメリットも多く地域振興に大きな影響をもたらすものとして地域住民の期待も大きいので、早い実現を期待する。

町長 大事業であるので検討していきたい。

改修が望まれる大浦港湾道路



権現山の地すべり跡地の整備

問 平成九年三月議会で私が質問し他の議員からも数回発言があつていますが、この土地は大浦地区の中心地ですばらしい環境にあり公園化の構想はもつてないか再度検討されたかどうか。また町長は、駐車場としての考えも言われていたが、どうなっているか。

町長 権現山周辺は防災地域に指定されており、い

るんな制約をうけているため現在は公園計画はない。

駐車場の計画については、一時私有地を借用しての対応をしたが、現在は断念している。小学校の運動会、総会等の大きな行事の際は必要だと思つたので町有地の利用等も含めて対策を考える。さらに慰霊塔も老朽化しているし、その対策と共にミニ公園化はできないものか、駐車場として整備できないか検討したい。



高齢者福祉対策の充実を図れ

坂口 久信 議員

問 今日、高齢者世帯の弱い人々が、新聞、テレビ等の報道によると、火災や介護疲れで病気になる、たり死亡をされたり、又、

他人に傷つけられたり、毎日のように報道されている。以前はこのような現象は都会での出来事と思わ

れていたが、今日では、太良町のような小さな田舎まで広がっている。以上のことを踏まえ町は、高齢者の弱者対策として、防犯、防災等の面から、

た事業として、民生児童委員が一人ずつ一人の独居老人を見守る、ネットワーク事業もあり、愛の一声運動、それから老人テレホン取りっこ事業により、非常時に近くの方にインターホンを通じて連絡するようになっている。

さらには来年度は急病や災害時にすぐに連絡できるように、N.T.T.を利用したワイヤレスペンダントでの通報を行う事業も実施する予定である。

町長 延長が長く、急峻な地形のため、ある程度の事業費がかかり、自然保護の問題や管理、利用の面からも未知数であり、何かほかに模索し、方法がないか研究していく。

役場、行政区、世帯、それぞれの連携をどのようにつなげているのか。

町民福祉課長 独居老人等の安否確認につきましては、老人クラブ連合会から独居老人宅、または老人世帯に行つて、家事の援助、介助手伝い、話し相手になる事業があり、配食サービス事業で配食するとき、声かけを行い安否確認をしてもらっている。

町長 財政の許す範囲でできればやりたい。

町長 御手水地区の水を生かした周辺整備について農林事務所との話は進んでいるのか。

その他、郵便局の配達員さんが、不審なことがあった場合、役場や区長に連絡する制度もある。又、防犯と安否を兼ね

町民福祉課長 今のところ十分とは言えないが、ほぼ対応できている、実際に介護疲れされる方の人数予測がつかないが、何らかの形で、休ませる制度をつくっていききたい。

町長 広域農道の橋梁計画に対し、水を放水できるような構造で検討している。又、周辺の駐車場等の整備についても、県にお願いしている。

町長 担当課長の今後の決意は

二級及び療育手帳Aに限定されて支給されているものを幅広くこういう人たちに利用させる方法

町民福祉課長 今のところ十分とは言えないが、ほぼ対応できている、実際に介護疲れされる方の人数予測がつかないが、何らかの形で、休ませる制度をつくっていききたい。

町長 広域農道の橋梁計画に対し、水を放水できるような構造で検討している。又、周辺の駐車場等の整備についても、県にお願いしている。

町長 担当課長の今後の決意は

赤松橋周辺(水源の森百選)

町民福祉課長 今のところ十分とは言えないが、ほぼ対応できている、実際に介護疲れされる方の人数予測がつかないが、何らかの形で、休ませる制度をつくっていききたい。

町長 広域農道の橋梁計画に対し、水を放水できるような構造で検討している。又、周辺の駐車場等の整備についても、県にお願いしている。

町長 担当課長の今後の決意は

問 赤松橋周辺一帯の自然

を生かした散策道の整備は。

町長 延長が長く、急峻な地形のため、ある程度の事業費がかかり、自然保護の問題や管理、利用の面からも未知数であり、何かほかに模索し、方法がないか研究していく。

自然を生かした環境作りは

町長 広域農道の橋梁計画に対し、水を放水できるような構造で検討している。又、周辺の駐車場等の整備についても、県にお願いしている。



赤松橋附近(水源の森百選)

町民福祉課長 今のところ十分とは言えないが、ほぼ対応できている、実際に介護疲れされる方の人数予測がつかないが、何らかの形で、休ませる制度をつくっていききたい。

町長 広域農道の橋梁計画に対し、水を放水できるような構造で検討している。又、周辺の駐車場等の整備についても、県にお願いしている。

町長 担当課長の今後の決意は

町長 担当課長の今後の決意は



家庭用電動式生ゴミ処理機

導入に補助はできないか

浜崎 敏彦 議員

問 コンポスト機器購入に
対して、当初から現在ま
での補助対象個数は何個
か。

町長 補助は昭和五十九年
より実施しており、平成
十三年二月末現在で千七
百七十六個となっている。

問 コンポストを使用して
いる町民から、利用状況
等に関して情報を収集し
たことがあるか。

環境衛生課長 効果につい
ては、生ゴミの投入の仕
方等がまちまちで何とも
いえないが、常々指導は
している。

問 県内市町村の電動式生
ゴミ処理機購入に対する
補助状況はどうなってい
るか。

町長 四十九市町村で、家
庭用電動式生ゴミ処理機
は十四市町村で、コンポ
スト生ゴミ容器は三十四

市町村である。

問 両方実施しているのは
十二市町村である。

環境衛生課長 有明町、白
石町、江北町、鹿島市、
嬉野町はモニター制を
とっており、塩田町に関
しては、掌握していない。

問 今後、家庭用電動式生
ゴミ処理機の導入を積極
的に推進し、補助してい
く考えはないか。

町長 町内の可燃物は、年
間千六百七十七トン、そ
のうち生ゴミは七百三十
一トンとなっている。

生ゴミと畜産のし尿を
合わせて堆肥づくりを実
施している市町村を調査、
検討中であり、もしこれ
が不可能であれば、その
時点で考えていきたい。

問 町民もゴミリサイクル

化を十分理解し、先行し
て購入された場合、逆の
ぼって補助対象としての
考えがあるか。

町長 逆のぼってというこ
とについては、ちょっと
抵抗があるが、場合に
よっては前向きに検討し
たいと思っている。

**防災行政無線の
今後の行方は！**

問 老朽化が進み、ここ数
年調査及び研究、検討が
なされていたが、方向性
は決定したのか。

町長 昭和五十七年四月に
開局し、十九年が経過し
既に耐用年数を大幅に経
過しているのが現状であ
る。

更新については、あら
ゆる方向から検討してき
たが、総合的に判断して、
防災行政無線を更新する

ことで検討している。
尚、今回は、デジタル
方式を導入するよう考え
ているが、この方式は平
成十三年度中に法改正及
び免許方針が策定される
予定であるから、平成十
四年度に実施設計業務を
行い、工事は平成十四年
度と十五年度の二か年計

画で施工したいと考えて
いる。

問 アナログ方式とデジタ
ル方式の違いは何か。

総務課長 アナログ方式は
こちらからの伝達の一方
通行で、デジタル方式は
往復の回路が出来るのが
一番の特徴である。

問 行政区のみの放送は、
公民館の中から出来るよ
うになるのか。

総務課長 各行政区の公民
館に屋内拡声器を設置し、
放送出来るよう考えてい
る。

問 戸別受信機を全戸に設

置するよう考えているか。
総務課長 全戸設置を基本
に計画を立てている。

問 行政視察の際、過疎債
の適用を受けている市町
村が結構あったが、太
良町の場合はどうか。

助役 過疎債を発行するた
めには、過疎地域の指定
が必要となる。

その為には、人口の減
少の動向とか老年令化率
等が国の基準をクリアし
なければならぬ。
太良町の場合は該当し
ないと聞いている。

防災無線塔





町道の未登記解消を急げ

山崎 貞雄 議員

問 二百二十五路線、約二十四万三千五百mが町道の認定路線、内二百四十

二kmが交付税対象である。二百二十五路線に未登記件数は何件あるか。

又町道の中に林道で開設して、その後整備され、町道に認定された路線と延長は幾らあるか。

商工水産課長 町道二百二十五路線の未登記件数は百八十七件である。

建設課長 当初林道で開設され、町道に認定された路線六路線、延長一万二千九百十八mである。

問 林道で開設した町道用地の登記はすすんでいるか。

建設課長 当時の林道開設は用地の契約者等の書類もないので国土調査の図面と照合した結果六路線で百五筆の未登記である。

問 林道でつくった町道は無償で提供されており未登記のまま、放置はできないと思うが、二百二十五路線の未登記発生初期から過去十年について、昭和五十七年以前は不明

というところか。
商工水産課長 昭和二十七年が確認できないので昭和五十九年から平成十二年まで百八十七件となっている。

問 昭和五十七年以前の分が役場で確認できないとは、どういうことか、昭和四十六年、四十七年北多良地区で第二次農業構造改善事業による樹園地の交換分合附帯事業により十六路線一万三百五十二mの農道が整備されておりますが、その中の杉谷線の一部に幅員三mの舗装道路が図面上になく、そのまま三十年間も課税されている。

この事業は補助事業であり、登記事務の財源措置もなされている。
課長は五十七年前は不明と言うが、調査して未

登記分は明示されたい。
町長も聞いたとおり未登記件数が非常に多い。
この未登記の解消についてどうのような考えか。
町長 そんな前の分も済んでいないとは思いますが、いけれども、これは確かに不手際、だからといって捨ててもおけないんで、前向きで検討していかざるを得ない。

問 未登記解消計画について明確な答弁が欲しい。

今の体制で何とかせにやいかんということだが登記は相続、担保など複雑な要件が重なっており、一日も早く進めなければ登記の条件は悪くなる。そこで用地交渉から登記事務まで一貫した所掌事務を担当する用地係の組織体制についてどのように考えるか。

町長 話はよくわかったが、現地等も確認しながらやらないと、今勇み足の発言は控えたい。

商工水産課長 平成十年、十一年、十二年、三年間の登記の状況は十年、委

託数二百五十九筆未登記二筆、十一年、百七十六筆内未登記十四筆、十二年百十七筆内未登記九十二筆で過年度分の未登記については、新しい分から登記しているから、以前の分には手が向かない現状です。

問 登記はできるものから進めるのが原則で、残っている物件は問題がある。勇み足とかなんかの問題でない。
町長 の取り組み方針を聞いている。

町長 前向きで検討し考えたい。

問 町道の認定条件の制定については、未登記の用地がある道路は認定しないの一項を設けると未登記用地の排除にもなる。先の議会で町長の許可があればつくる用意はしているような課長答弁があったが、町道認定基準を制定する考えはあるか。

町長 そのようなことは基準として考えていかねばならないと思う。



林道を町道に編入された道路



雇用と景気対策は

下平 力人 議員

問 本町では、企業誘致を

と思っても、立地的に企業誘致は困難で、第一次産業を主とした形態で進んできた。

特にミカンの暴落が引き金となり、低価格と不作で生産者も厳しい状況であり、その救済策の手だてはないか。

(一)、公共事業の促進、事業の早期発注について。

(二)、田直し事業や園内道路の整備事業の継続について。

(三)、保育園児、幼稚園児の第三子からの入園料を保護者負担なしにするこ

とについて。
四、地域環境整備事業原

町長 (一)、今後は前期で

きるだけ発注し、目標を執行する。

(二)、田直し事業の継続について、平成十年度から十二年度までの三か年の継続補助事業として補助率七十%で計画しているが、申請が意外と多い。

現在まで三か年間で約八千六百万円の補助金を交付している。

財政面で補正が可能であれば、十三年度で対応していきたい。

事業の継続については、申請状況や事業の効果、総合的に検討し、今後の方針を決定していく。

園内作業道の整備事業については、コスト低減と労働力の削減、高品質化対策等を目的とし、補助率六十%事業として実

施をしている。

(三)、保育園児の第三子

からの入園料を保護者負担なしにする件については、仮に実施するとしては、現時点での園児に当てはめて計算をし、町の負担が約一千五百万円必要となり、現在既に実施しておる。

保護者負担金の軽減措置による町の持ち出し分

一千万円であり、これを合わせ二千五百万円を超える金額を町が負担になる。

今後の検討課題とさせていただく。

四、十三年度からは原材料と工事請負費と二本立てで予算化しておる。

この工事請負費が御指摘の雇用対策になれば幸

間 例年、大体公共事業、補助事業を含め九月から年度末に近いところで発注がされておる状況であり、単独事業、補助事業も含めて全体の三十〜四十位を前期に発注をお願いしたい。

建設課長 十二年度から課内協議をし、極力三十〜四十%内で早期発注をする様計画している。

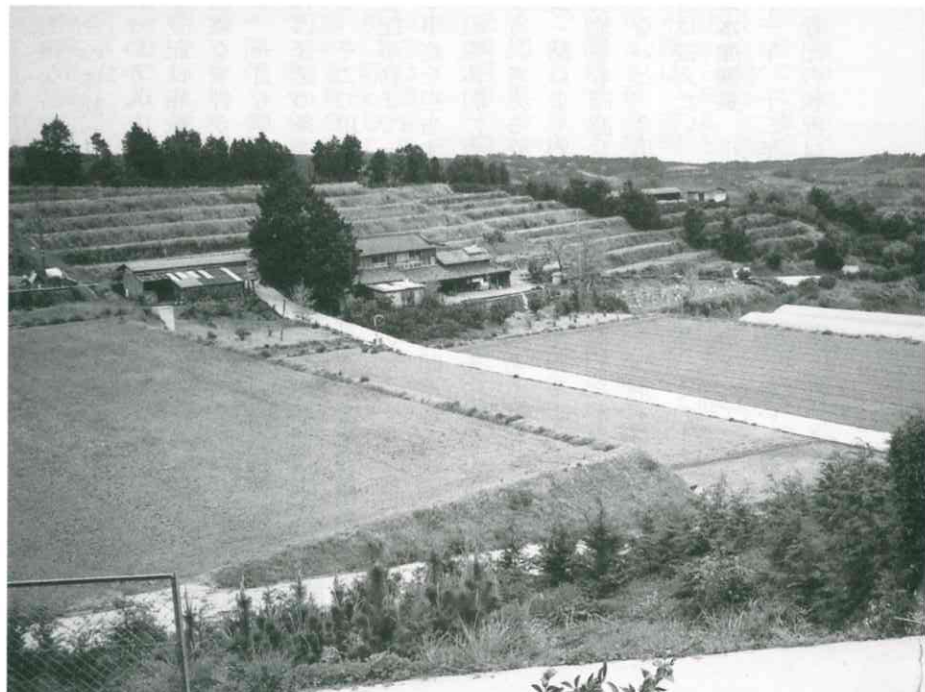
問 次に田直し事業や園内道路については、町長の決断により三年間の事業計画がなされ、これによって関係者が多大の恩恵を受け大変感謝している。

この事業は、業者のみならず、地主も事業が出来るという一番大きなメリットがあり就業の場が多少でも確保でき大変良い事業と思う。

最後に、国は景気改善は若干できたが、しかし、当分は足踏み状態で、非常に景気に対し神経を使っておられるわけだが、町長の考え方として、総合的に太良町をどうい

ふうにしていけば、雇用、景気両方の対策になるか。

町長 ただポリシーとして掲げていることをなるべくこれを完全に実行していきけるよう全身全霊を傾けていくことがとりもなおさず、経済も含めて町政の発展につながる事だと思っておる。



残土処理で造成された水田(端月地区)



待ったなし 早熟系一型の転換

吉田 俊章 議員

問 太良町のミカン農家は

西南暖地の有利性を生かし、早熟系に偏った産地の形成をなして来た。しかし、消費者のニーズの多様化等によって大

きな痛手を受け、経営の危機に瀕している。

価格の長期低迷で足腰の弱い経営体質の上に、さらに早急な転換を余儀なくされている。

本町の産業の大きな柱であるみかん産業に思いきった策を講ずるべきだ

察された事があるか。農林課長 農業委員会と一緒に

と思うがどうか。町長 太良ミカンの品種構成を見ると六十%を早熟系早生温州で占めており

視察をして課内で討議されたり、検討された事はあるか。

中でも宮本など一タイプ

更新が大きな課題となっている。農林課長 うまいミカンづくり推進協議会の委員会

早急な転換や、マルチ対策など、銘柄産地再構築に向けて取り組みが必要になると認識をしています。

幹事会等で話している。問 UR対策のリング矮化事業が終わると思うが、

リースを含めた施設化の推進、並びにタイプック等の供給は出来ないか。

その後の事業もあると聞く、またリース事業にはどう言う事業の組み合わせが可能であるか。

町長 タイベックについては

農林課長 十三年度事業の詳細については、まだ把握していません。

リース事業については総合的な調査研究が必要になるものと考えます。

リース農園では杵築の場合、農業構造改善事業、中山間総合整備事業、エル資金の活用、そして農業公社を作って取り組んでいる。

問 杵築のリース事業を視

問 早期転換と大苗の供給

はどう考えるか。

町長 今日の課題となっている品種更新については、現在在庫事業で実施している。

大苗で出来るならばやるべきと思っている。

問 省力化の為の基盤整備、機械化、及び農地の集積はどう進めるか。

町長 団地化に向けた基盤整備をはかり、農地の受委託を積極的に推進する。

問 宣伝強化をすべきでは。

町長 支援出来る部分があれば関係団体と協議したい。

問 キャラバン隊でも結成して太良町の産物を宣伝したらどうか。

町長 キャンペーンでも募集出来ないか。

町長 望むところであるが是非良いものを作りたい。

問 後継者育成の為の指導はどうしているのか。

町長 平成七年に立ち上げた藤津地区青年農業者育成対策協議会の中で事業を展開している。

道路整備と水路の改良を

問 火葬場線の小鋤の踏切の上のカーブと、水路の改良はどうするのか。

建設課長 地権者の協力を得ながら十三年中には側溝の整備もあわせて計画したいと思っている。

問 踏切の下の水路も改良出来ないか。

建設課長 町長にも一緒に現地を見てもらいたいと思っている。

問 中山間総合整備事業で片峰峠線が計画中であるが、スムーズに二〇七号に取りつけることは出来ないか。

又道路建設には必ず排水と言う問題が出てくる。下の尾辺田地区は水害の常襲地である、考慮に入れないながら計画すべきだ。

建設課長 今のところ二〇七号への取りつけは難しいので、火葬場経由で国道にタッチするのが一番妥当ではないかと思う。

園内道を舗装されたみかん園



